

# 稲・大豆作情報 (NO.9)

## 1. 水稲作況情報田の生育概況(8月26日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 c m	茎 数 本/㎡	主稈 出葉数	SPAD	
夢しずく 佐賀市 本庄町	6/16 17.6株/㎡	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月17日 (平年より2日遅い)				夢しずく 糊熟期を迎えている。
さがびより 小城市 芦刈町	6/20 17.7株/㎡	本 年 平 年 平年比	94.4 95.5 (100)	345 425 (81)	14.2 15.2 (-1.0)	31.2 33.7	さがびより まもなく出穂期を迎える。
ヒヨクモチ 小城市 牛津町	6/28 20.1株/㎡	本 年 平 年 平年比	70.1 77.4 (91)	595 517 (115)	14.5 15.5 (-1.0)	37.1 39.8	ヒヨクモチ 幼穂形成期～穂ばらみ期を迎えている。

注1) 各品種 前作：麦、前前作：水稲。

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる。

## 2. 水稲管理

### ○今後の水管理

品種により生育ステージが異なり、水管理も違ってくるが、現在圃場が常時湛水状態となっている圃場も多く、**連続的降雨時は浅水または落水管理を徹底する**。その後は間断灌水(2日湛水3日落水)を徹底し、根の活力維持に努める。中干しが不十分な圃場は、倒伏防止のために、落水期間を1～2日程度長くして、徐々に土を固めるようにする。

- ・夢しずくは、適度な土壤水分が保持されていれば、天候が回復するまで灌水は必要ないか少量灌水とし、土壌を固め倒伏防止に努める。また、出穂期が平年よりも1日遅く、低温で推移しているため成熟期は昨年より遅れる見込み。
- ・さがびより、ヒヨクモチは現在、稲が最も水を必要とする時期(穂ばらみ期)にあたるため、穂揃い期頃までは、浅水(2～3cm)管理や灌水の期間をやや長めにとった間断灌水に心がける。

### ○病害虫の発生状況

- ・**いもち病**の発生は、平年並みとなっているが、局所的に多発している圃場が散見される。病斑が多い圃場は、必ず防除を行い穂に進展させないように心がける。
- ・**ウンカ類の発生**は、平年よりやや多い状況である。発生予察によると**9月2～5日頃が、防除適期**(トビロウンカ各世代の発生予測第6版2019年8月22日作成より)となっているが地域品種により異なるため地域JAの発生状況を参考に防除を行う。また、ウンカは株元に生息しているため、**防除の際は湛水するとともに株元まで薬剤が十分かかるよう丁寧に散布する**。
- ・**斑点米カメムシ類**は、山麓部では乳熟期(穂揃い後10日目頃)の防除を徹底する。例年被害が多い地域では、出穂後5日と乳熟期の2回の防除が効果的である。農薬の散布は、カメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。各品種、出穂期間近となっているため草刈りは実施しないもしくは出穂10日前までの畦畔除草を

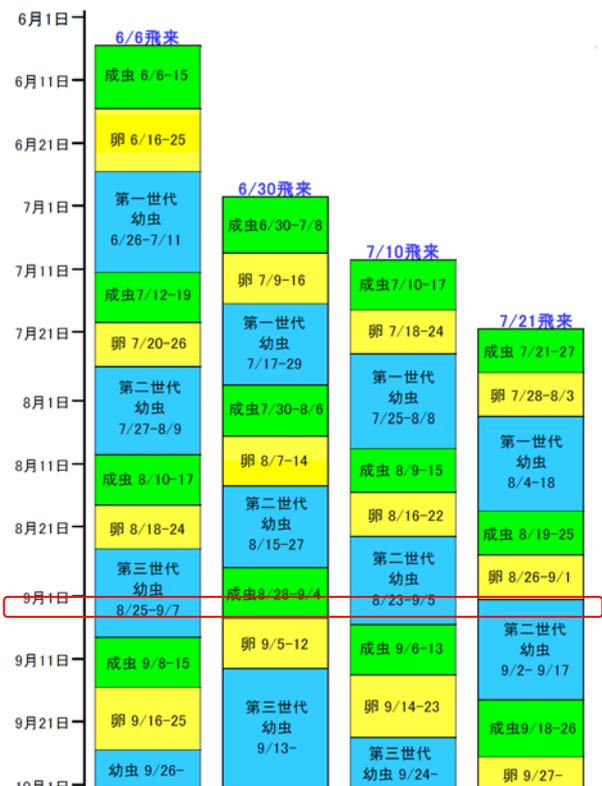


図3 トビロウンカ各世代の発生予測(第6版, 2019年8月22日作成)

心がける。

- ・**紋枯病**が初発段階である。吹き寄せしていた場所で発生しやすいため、圃場の状況を確認し、バリダシン液剤（収穫 14 日前まで）等で防除を行う。

※複数の病害虫が発生しており、同時に防除する必要がある場合は、以下の薬剤が有効。

- ・ダブルカットバリダトレボン（穂ぞろい期まで：いもち病,紋枯れ病,トビイロウンカ,カメムシ）
- ・ワイドナーエース（収穫 14 日前まで：紋枯れ病,ウンカ類,コブノメイガ）

また、不明な点があれば普及センターまたは JA へ相談する。

### 3. 大豆管理

○**生育状況** 7月中旬に播種したものについては、8月26日頃に開花期となっている。

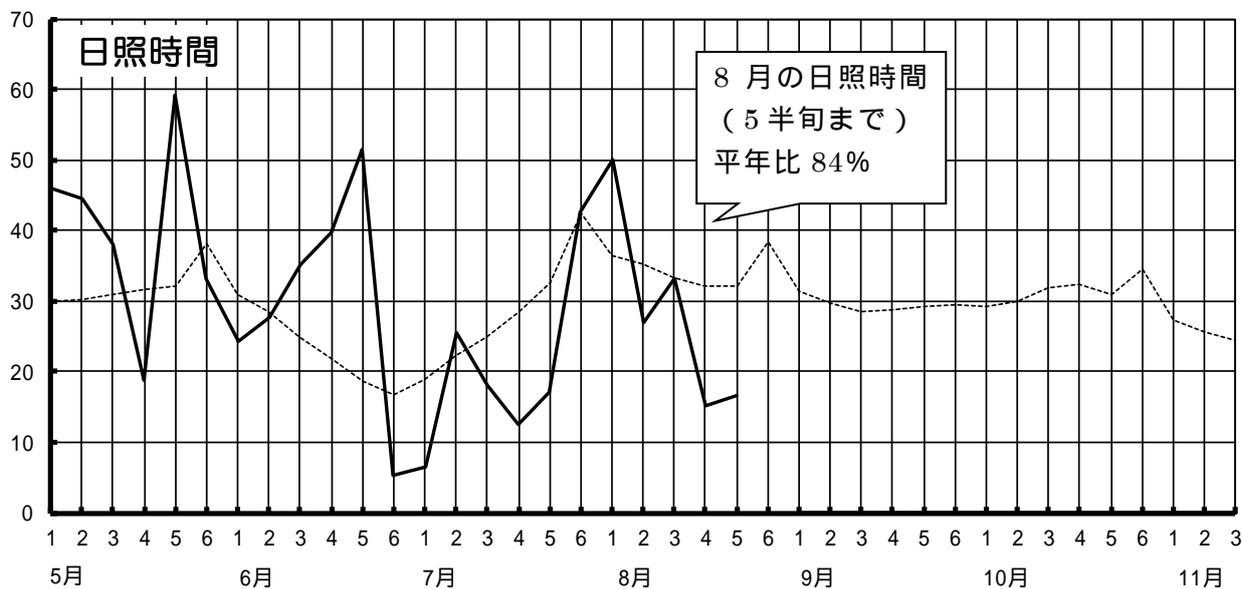
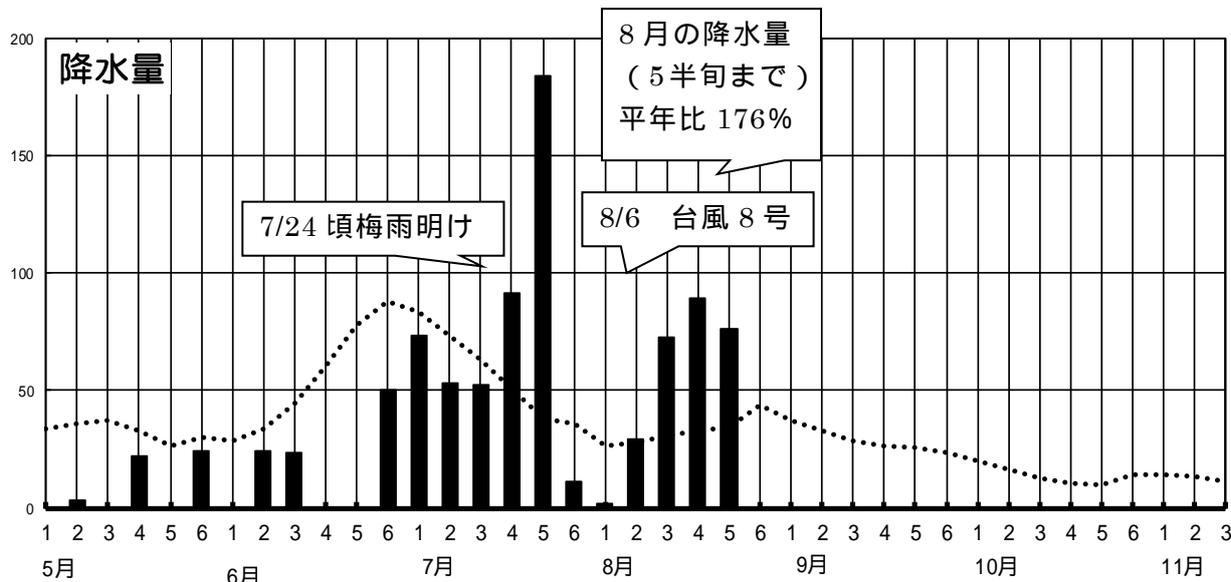
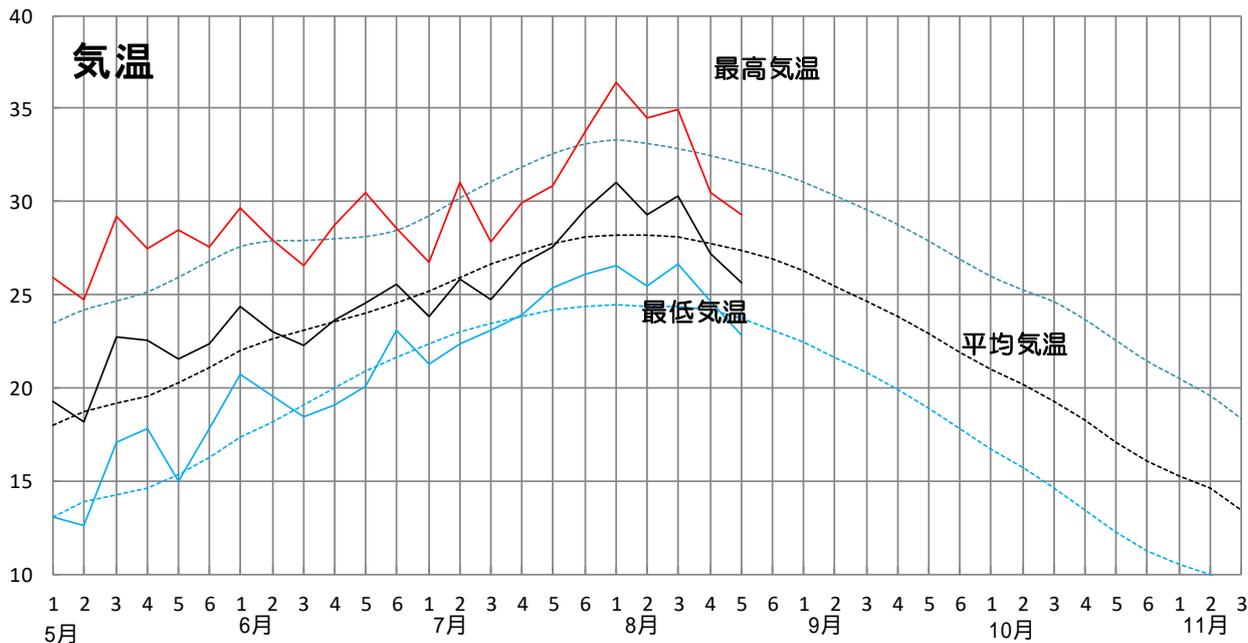
○**病害虫** ハスモンヨトウについては、平年並みの発生となっている。圃場の状況を確認し、白変葉が見られ始めた場合は、防除を実施する。

○**雑草防除** ホオズキの発生量が多い場合は、大豆の生育を抑制する可能性が高く、次年度以降の発生源となる可能性もあるため、抜き取りを実施し圃場外へ持ち出す。

また、アサガオ類についても繁殖力が強く、効果の高い除草剤も無いため、1 本でも見つけ次第除去し、圃場外の除草も徹底する。

### 令和元年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業改良普及センター



令和元年産 水稻の収穫期予想積算表【8月26日現在】

\*ヒノヒカリ、さがびより、ヒヨクモチは出穂期に達していないので目安になります。

佐城農業改良普及センター

月	日・曜	平均気温		品 種											
		平年値	本年値	夢しずく			ヒノヒカリ		さがびより			ヒヨクモチ			
		℃	℃	8/15頃出穂	6/16移植	8/19頃出穂	8/23出穂	6/20移植	8/26出穂	8/30出穂	6/20移植	9/1出穂	9/3出穂	6/20移植	9/7出穂
積算気温 最低値		880℃			平坦		900℃		900℃			950℃			
積算気温 最高値		1,050℃			山麓		1,050℃		1,050℃			1,150℃			
出穂後日数 最短～最長		33～39日			40～50日		40～45日			46～60日					
黄熟割合 早限～遅限		75～90%			75～90%		75～85%			90～95%					
籾水分 早限～遅限		26～23%			28～25%		27～22%			28～22%					
9月	16 月	24.2	832	775	722	612	541	433	380	327	301	224	148		
	17 火	24.0	856	799	746	636	565	457	404	351	325	248	172		
	18 水	23.8	880	823	770	660	588	481	428	375	349	271	195		
	19 木	23.7	904	847	794	684	612	504	451	399	372	295	219		
	20 金	23.5	927	870	817	707	636	528	475	422	396	319	243		
	21 土	23.3	950	893	841	730	659	551	498	445	419	342	266		
	22 日	23.1	974	916	864	754	682	574	521	468	442	365	289		
	23 月	22.9	996	939	887	776	705	597	544	491	465	388	312		
	24 火	22.7	1,019	962	909	799	728	620	567	514	488	411	335		
	25 水	22.5	1,042	985	932	822	750	642	589	537	510	433	357		
10月	26 木	22.3	1,064	1,007	954	844	772	665	612	559	533	455	379		
	27 金	22.1	1,086	1,029	976	866	794	687	634	581	555	477	401		
	28 土	21.9	1,108	1,051	998	888	816	709	656	603	577	499	423		
	29 日	21.7	1,130	1,073	1,020	910	838	730	677	625	598	521	445		
	30 月	21.5	1,151	1,094	1,041	931	860	752	699	646	620	543	467		
	1 火	21.3	1,172	1,115	1,063	952	881	773	720	667	641	564	488		
	2 水	21.1	1,194	1,136	1,084	974	902	794	741	688	662	585	509		
	3 木	21.0	1,215	1,157	1,105	995	923	815	762	709	683	606	530		
	4 金	20.8	1,235	1,178	1,126	1,015	944	836	783	730	704	627	551		
	5 土	20.6	1,256	1,199	1,146	1,036	964	857	804	751	725	647	571		
	6 日	20.5			1,167	1,056	985	877	824	771	745	668	592		
	7 月	20.3				1,077	1,005	897	844	792	766	688	612		
	8 火	20.2				1,097	1,025	918	865	812	786	708	632		
	9 水	20.0				1,117	1,045	938	885	832	806	728	652		
	10 木	19.8				1,137	1,065	957	904	852	826	748	672		
	11 金	19.7				1,156	1,085	977	924	871	845	768	692		
	12 土	19.5				1,176	1,104	997	944	891	865	787	711		
13 日	19.3				1,195	1,124	1,016	963	910	884	807	731			
14 月	19.1				1,214	1,143	1,035	982	929	903	826	750			
15 火	18.9				1,233	1,162	1,054	1,001	948	922	845	769			
16 水	18.7				1,252	1,180	1,073	1,020	967	941	863	787			
17 木	18.5				1,270	1,199	1,091	1,038	985	959	882	806			
18 金	18.2				1,289	1,217	1,109	1,056	1,004	977	900	824			
19 土	18.0				1,307	1,235	1,127	1,074	1,022	995	918	842			
20 日	17.8				1,324	1,253	1,145	1,092	1,039	1,013	936	860			
21 月	17.5						1,163	1,110	1,057	1,031	953	877			
22 火	17.3						1,180	1,127	1,074	1,048	971	895			
23 水	17.1						1,197	1,144	1,091	1,065	988	912			
24 木	16.9						1,214	1,161	1,108	1,082	1,005	929			
25 金	16.7						1,231	1,178	1,125	1,099	1,021	945			
26 土	16.5						1,247	1,194	1,141	1,115	1,038	962			
27 日	16.3						1,263	1,210	1,158	1,132	1,054	978			
28 月	16.2						1,280	1,227	1,174	1,148	1,070	994			
29 火	16.0						1,296	1,243	1,190	1,164	1,086	1,010			
30 水	15.8						1,311	1,258	1,206	1,180	1,102	1,026			
31 木	15.7									1,195	1,118	1,042			
11月	1 金	15.5									1,211	1,133	1,057		
	2 土	15.4									1,226	1,149	1,073		
	3 日	15.3									1,241	1,164	1,088		
	4 月	15.1									1,257	1,179	1,103		
	5 火	15.0									1,272	1,194	1,118		
	6 水	14.9									1,286	1,209	1,133		
	7 木	14.7									1,301	1,224	1,148		
	8 金	14.6									1,316	1,238	1,162		
	9 土	14.4									1,330	1,253	1,177		
	10 日	14.2									1,344	1,267	1,191		

＜収穫適期の目安＞

◎穂軸の先端（穂先）から、穂長の1/3～1/4程度が枯れ、1穂粒数の1割程度が活青米で残っている状態。

◎刈り取り適期の籾水分は、「夢しずく」で26～23%（平坦上～山麓は29～25%）、「ヒノヒカリ」で28～25%、「さがびより」で26～22%、「ヒヨクモチ」は28～22%となっております。

早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。

収穫のポイント

- 積算表はあくまで目安です。
- 圃場毎の熟れ具合を確認したうえで、収穫日を決定してください。
- 早期落水は充実不足により、品質低下の原因となります。必ず間断灌水を実施して、根の活力維持に努めて下さい。
- コンバイン収穫前には、麦などの異種穀粒 や異物が混入しないように清掃点検を行いましょ。
- 日中の高温条件下での収穫となり、籾水分も高いので、収穫後はできるだけ、速やかに通風・乾燥を行いましょ。一時堆積の時間が長いと、籾の温度が高くなり、ヤケ米が発生します。